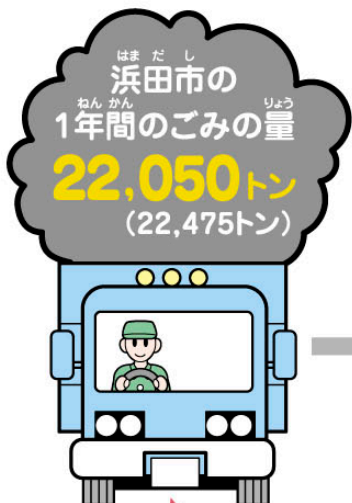


# 平成20年度 ごみ処理量と処理の流れ

※( )内は平成19年度の数値です。



**燃やせるごみ**  
15,391トン (15,510トン)  
エコクリーンセンター

**燃やせないごみ**  
2,748トン (2,799トン)  
浜田市不燃ごみ処理場

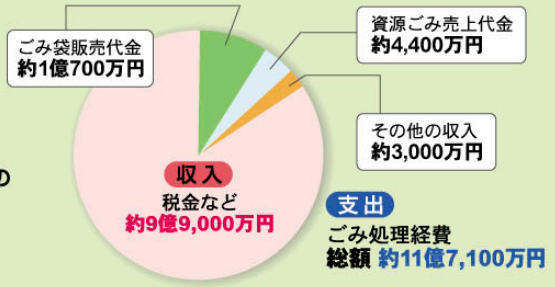
リサイクルできるものは、中間処理した後、工場へ出荷される。  
選別した後、リサイクルできないものは、埋める。

**資源ごみ**  
3,911トン (4,166トン)  
石央リサイクルセンター

段ボール・新聞・牛乳パック・本 2,242トン (2,473トン)  
古着・古布 61トン (54トン)

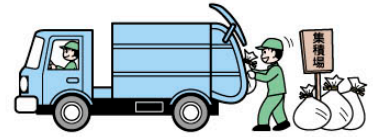
## 平成20年度 ごみ処理経費の状況

ごみ処理にかかった費用のうち、約9% (約1億700万円) は、ごみ袋の販売代金でまかなわれています。



燃やした後の灰を埋める

ごみを埋める場所  
(浜田市不燃ごみ処理場)



細かく砕いて埋める

鉄くずを取り出す

資源ごみは売却し、市の収入になります。

アルミ缶・スチール缶 261トン (262トン)

工場、アルミ缶やスチール缶などの原料に生まれかわる。

ガラスびん 505トン (525トン)

ガラスを作る工場、びんなどの原料に生まれかわる。

ペットボトル 842トン (852トン)

工場、繊維材料(作業服やカーペットを作る材料)などに生まれかわる。

プラスチック製  
容器包装

工場、プラスチック製品などを作る原料に生まれかわる。

紙を作る工場、紙などの原料に生まれかわる。

1. 海外へ輸出して、外国の人が着る。
2. ウェス(油などをふきとる布)に生まれかわる。

